

向井議員、岩崎議員が聴く

## 自治会で取り組む

## 地域猫活動

表紙写真／話をお聞きした新川さん

黒瀬ハイツ自治会では「地域猫活動」を通じ、野良猫による糞尿被害を防ぐと共に地域で野良猫を増やさない、猫の苦手な方への配慮を行うなどの取組みをされています。こうした先進的な活動の状況について話を伺いました。

### 話をお聞きした方



黒瀬ハイツ自治会  
前自治会長 河野 時雄さん



黒瀬ハイツ自治会  
地域猫活動推進委員 里水 紀子さん

# 地域猫活動で地域の環境改善と

# 動物愛護について考える

Q 活動を始めたきっかけを教えてください。

河野 平成30年の1月頃、野良猫による糞尿被害の苦情が頻繁に出るようになり、どうしようかと悩んで三原市本郷町にある広島県動物愛護センターに相談したところ、「地域猫活動」が

あることを知り、書類をもらって届け出をしてから約半年後にこの活動を始めることになりました。

「地域猫活動」とは、一般的に「TNR」、すなわち、T(Trap:捕まえる)、N(Neuter:不妊・去勢手術する)、R(Return:元

の場所に戻す)とされています。それに加えて、私達の自治会ではM(見守り)が必要だと

考えており、餌場やトイレの設置などを行い、地域で見守っています。

Q 立ち上げまでの取組みについて教えてください。

里水 活動をスタートするまでの間に自治会の皆さんへ、地域猫活動のメリットやデメリットについてグラフ等を使用した資料を提示しながら理解を求める活動を行いました。しかし、地域の方からは色々な意見があり、最終的には自治会の総会<sup>ほか</sup>で諮<sup>はか</sup>つて、賛成多数で地域猫活動をスタートしました。スタートにあたっては率先して活動してくれる方が必要でしたが、今日来ているメンバーが主力となり活動をすることができました。



②

NO	写真	備考
4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・メス</li> <li>・初回登録</li> <li>・避妊済</li> <li>・左耳カット</li> </ul> <p>・平成31年3月26日手術</p>

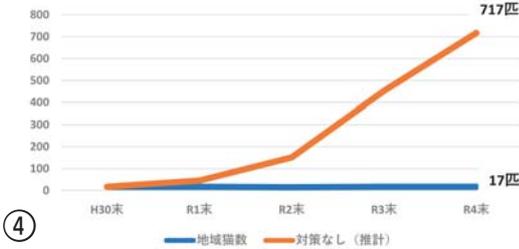
③



①

- ① 取材風景
- ② 地域猫のために作ったトイレ
- ③ 地域猫リスト (抜粋)
- ④ 地域猫活動の効果
- ⑤ 里親が決まった猫

地域猫活動の効果



④

里親募集

黒瀬ハイツ地域猫の子供  
 飼生を家族として迎えてくださる方、又、知り合いの方  
 いらっしゃいましたらご紹介をお願いします。

※ 夏目君 (仮名) 雄 8か月位 室内飼い  
 ※ 去勢済・ワクチン済・のみ、ダニ虫下し済  
 ※ トイレしつけ済・ゲージの中で上手に通じます。



⑤

Q 行政への要望はありますか？

害も減りました。活動を始めからは、糞尿の被害も減りました。

活動の成果としては、地域猫は不妊・去勢手術を受けており繁殖しないので、不幸な野良猫が増えませんが、猫には縄張り意識があることから、地域猫がいることで他の地域から新しい野良猫の侵入がありません。活動を始めてからは、糞尿の被害も減りました。

Q 活動の中で苦労したことや成果について教えてください。  
 河野 この活動に対して、自治会員さん全員の理解を得ることはなかなか難しいと感じています。なぜなら、自治会員の中には、猫の好きな方だけでなく嫌いな方(苦手な方)もいるからです。なので、猫が嫌いであったり苦手な方にも配慮した取組みでないと継続的な活動にならないと思います。例えば、猫が嫌いな方のお家には猫が近寄らないよう侵入防止グッズを配付するなど、地域全体の環境改善につながらなくては活動として意味がないと思います。

支援をお願いします。

また、保護猫を不妊・去勢手術してもらうため動物病院へ連れていくのですが、感染症の問題もあるためか受け付けてくれる動物病院が東広島市内には少ないと感じています。獣医師会との連携が図りやすい状態にしたいだければ地域猫活動もやりやすくなると思います。決して猫好きが趣味でやっている活動ではないので、重ねて行政の支援をお願いします。

また、保護猫を不妊・去勢手術してもらうため動物病院へ連れていくのですが、感染症の問題もあるためか受け付けてくれる動物病院が東広島市内には少ないと感じています。獣医師会との連携が図りやすい状態にしたいだければ地域猫活動もやりやすくなると思います。決して猫好きが趣味でやっている活動ではないので、重ねて行政の支援をお願いします。

里水 地域猫活動を行うことで、緩やかではありますが成果も出てきています。住みよい地域づくりにもつながるということを知っていただきたいと思います。現在ペットを飼われている方の責任ある飼育についても、広報紙やホームページなどを通じてしっかりと発信していただきたい。また、地域猫活動を行うためには、飼養代や手術代、病気があれば治療代などが必要になるため、地域猫活動の現状を確認しながら、行政としての支援策を検討していただきたいと思います。